別れなさい人生まだ長い

定年間近の夫が離婚の申し出

Q 結婚して二十五年。夫は五十五歳、Q関係の大企業に三十年勤めており、来年が定年です。子供はありません。だから私は結婚後、しばらくたっての生命保険会社の外交員として十年近く勤めています。これまで円満な家庭だったのですが、先月のこと、夫が突然「離婚を前提に別居したい」と言い出し、別居のため家を出ていってしまいました。「君は離婚しても働いているから生活に心配はないはず」「二十五年前に結婚したのが間違いだった」と言い出し、別居のため家を出ていってしまいました。

最近の新聞雑誌などでは、熟年夫婦の離婚が流行、愛知県の場合、六年前の約二倍だとか。それも妻から離婚を言い出すケースが多いのですが、私の場合は全く逆。それも離婚の理由が思い当たりません。よきアドバイスをお願いします。

（名古屋市　保険外交員　53歳）

イラスト・所　ゆきよし

A 最初にお断りしておきます。占いには入りません。これが最初のお断わりです。

相手方との関係学がありますが、ご本人が写真がなければこの方法は採用できません。占星術、四柱推命ならでしょう。これには正確な生年月日が必要となります。姓名判断は、当然のことながら名がいります。

悩みよく分かります

今回の匿名の保険外交員の女性のお悩み、よく分かります。あなたし、ぼっ然としておられる義情が手に取るように、まるで見えてくるから不思議です。

とは言っても、占いできません。データ不足。この一言に尽きます。占いはたしません。でも、同じ女性として意見を言わせて頂くことほど、別れなさい。とにかく別れること。その理由をこれから説明します。

あなたが指摘されるように、昨今の離婚事情は女性から言い出すケースが増えているようです。私のもとに相談に来られるのは、ほとんどが女性で、離婚すべきかどうかの悩みが多いことからも容易に察せられます。

離婚を望む奥さまだに言わせると「きっと彼主は、私がこういう気持ちだろうということを考えたこともないはずです」とおっしゃいます。

今回のケースは、まるで逆。ご主人が離婚を口にする。理由は分からない。それとも気づかないだけなのか。

まず、別居することです。やっぱりご主人と一緒にいた方がいい事があるかもしれません。

だ五十三歳。人生、やり直すには十分お若い。別れたがっている男に、無理やりくっついているよりも、慰謝料をたっぷり分捕って、人生存分に楽んだ方がいい。

恋人ができた。定年後に一緒にやっていこうと言ってくれた人がいるとか。二十五年間、ずっと結婚したことを後悔していた。

データ不足、占いはできません

あなたに恋人がいて、それに気づいたというのなら、こんなに静かな"三下り半"はないはず。

離婚して利があるのは、ご主人の側でしょう。

慰謝料を取って…

あなたは職があり、別れても生活に困らないようです。ご主人への未練もあまりないみたいです。加えて、まだまだ五十歳。人生、やり直すのに遅すぎるということはない。

ご主人は、ひょっとしたら、あなたが、ご主人の浮気を知っていて、黙っていてくれるのを期待しているのかもしれません。